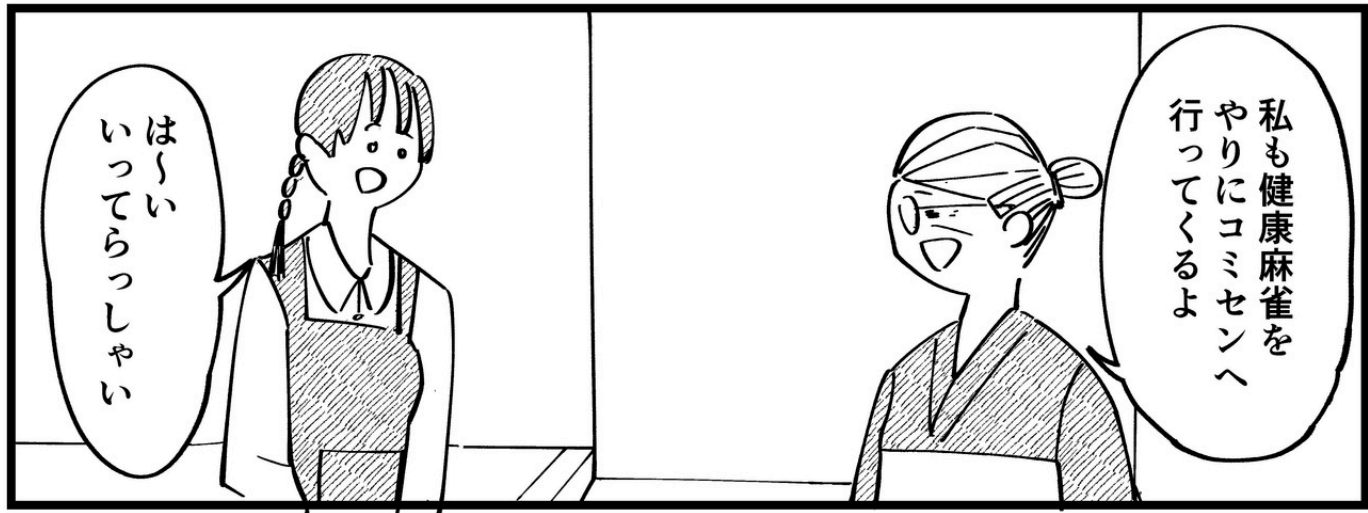
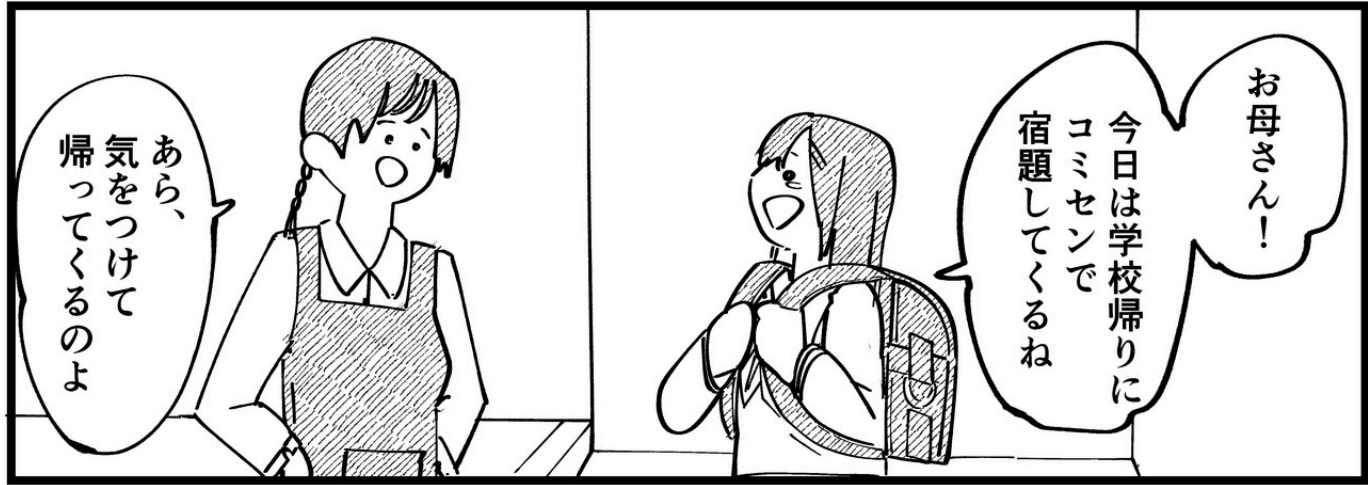
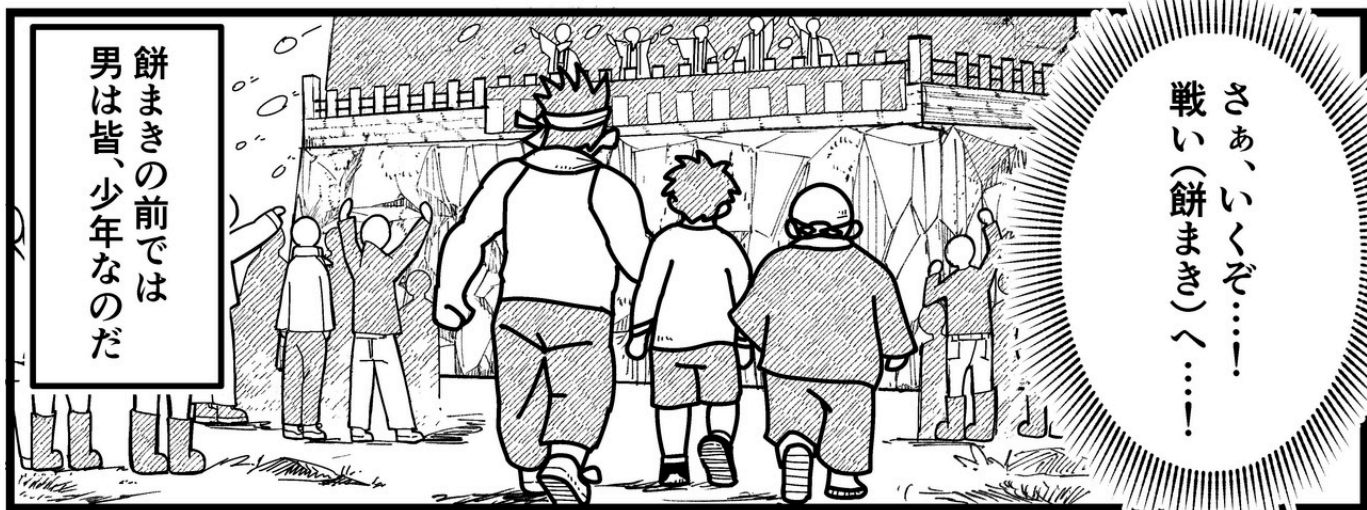
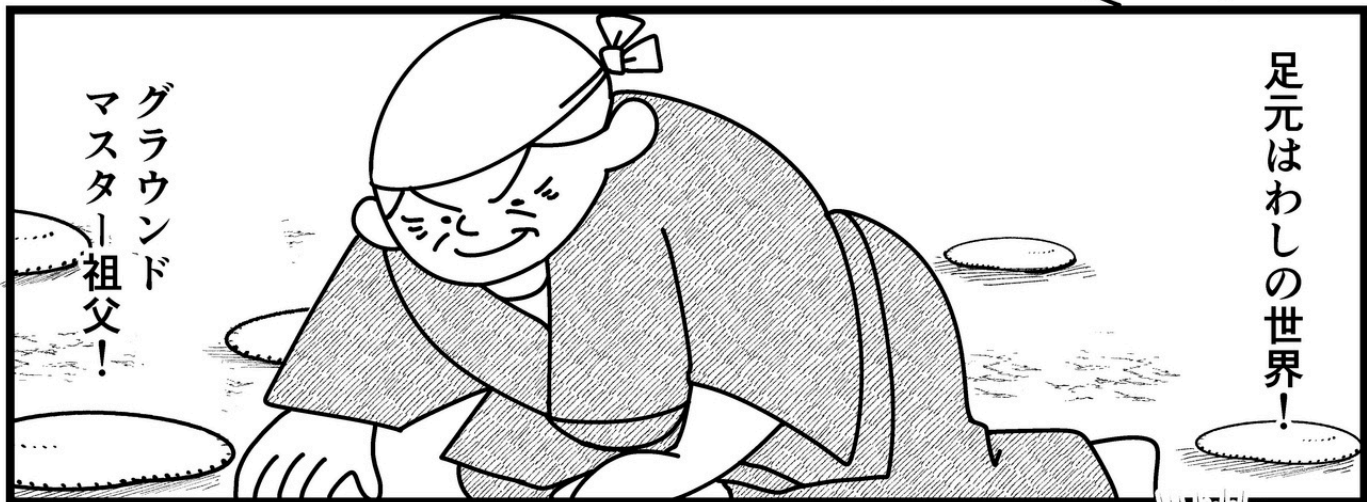
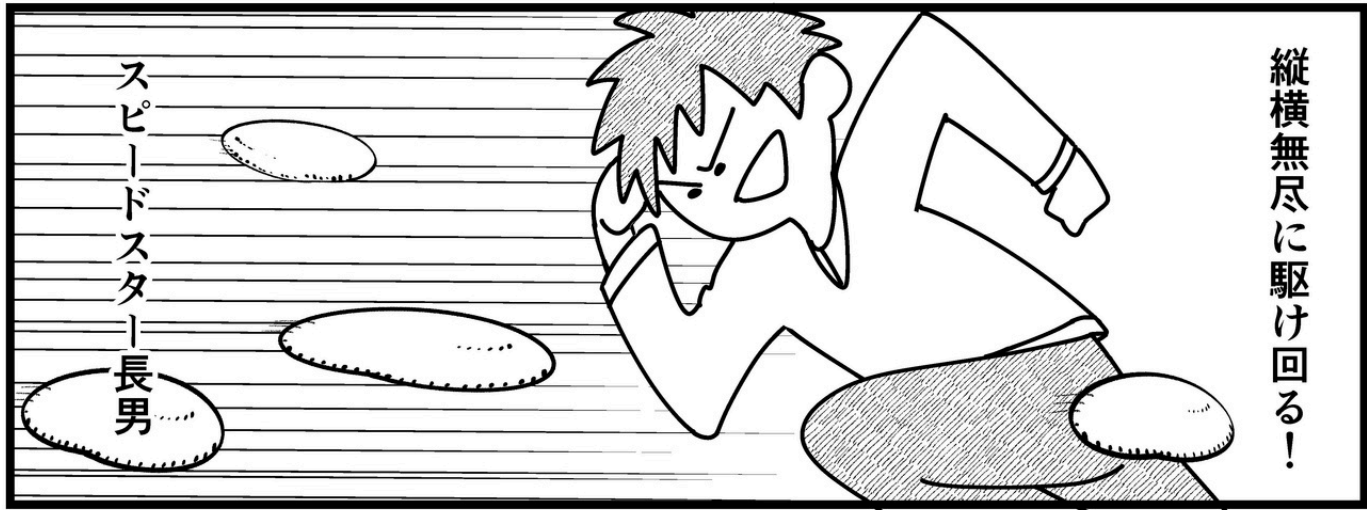
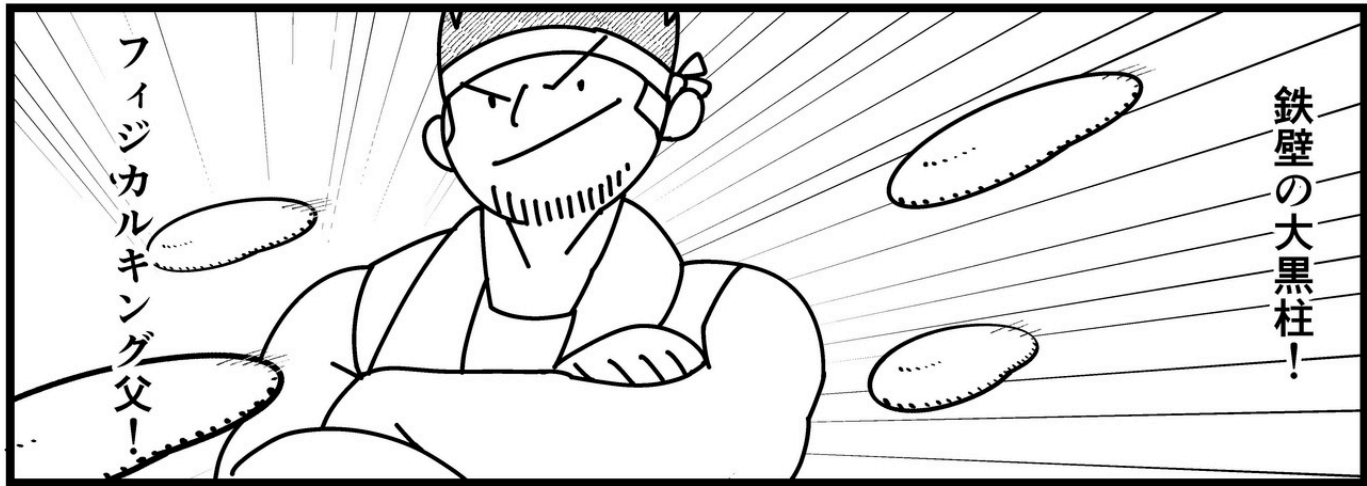


# 人が気軽に集まるまち 河和田



コミセンで、集まるっさ、楽しもっさ！  
ぎょうさん きとっけの～！

# 人がつながるまち 河和田



世代をこえて、つながろっさ！  
みんなで交流して元気な河和田にしていこっさ！

# 人がまえ合うまち 河和田



お互いさまやし、ちょこっと手え貸しあって、  
安心して暮らせる河和田にしてこっさ!

# 若者の企画が生きるまち 河和田



作 福森久哉(河和田アートキャンプ事務局/鯖江市地域おこし協力隊)

**若いもんの力、生かそっさ! 河和田で応援していこっさ!  
なんかしたいことあったら、相談しとっけの!**

# 河和田地区 SWOT クロス分析(暮らし、地域戦略)の一例 =みんなで考えましょう=

## 外部的環境(社会経済情勢の変化、時代の潮流)

### 機会

- ◆子育て環境の良い土地で暮らしたい人がいる。
- ◆田舎暮らしに興味を持つお年寄りがいる。
- ◆半農、半Xなど若者の考えが多様化している。
- ◆農と食、食の安全、健康への関心が高まっている。
- ◆ストーリー性を持った旅や滞在に関心がある人が増えている。
- ◆SNSを使った情報発信が容易になってきた。
- ◆地域貢献活動をテーマに上げる大学が増えた。
- ◆規制緩和や制度拡充による移動支援課題解決の動きが活発化している。

### 脅威

- ◆移動、買い物、雪かき等生活支援を必要とする後期高齢者が増えている。
- ◆過疎化により地区での小学校の維持が困難になる。
- ◆区長の仕事が多すぎて誰もしたがない。
- ◆バス、タクシー運転手が高齢化し、なり手不足。
- ◆モノづくり産地から職人がいなくなる。
- ◆太平洋側は大地震被害に遭遇する可能性が高い(南海トラフ)。



### 機会×強み

#### 強みで機会を活かす活動

- ◆地区内外の元気と行動力のある高齢者が、河和田をステージに地域資源を活用した様々な活動を企ててみたいような仕掛けと支援を行う。
- ◆うるしの里会館やコミセンが河和田地区への関係人口を増やす拠点になるよう、産業界と地域が連携した活動を行う。
- ◆地区内の SNS にたけた高齢者をネットワーク化し、まとまった地域の情報発信を行う。
- ◆アートキャンプを核として、多様な大学生を継続的に招聘し、地場産業企業、地区民とのコラボにより地域活性化に寄与する様々な活動を行う。
- ◆温泉泊、匠の技体験、旬の農産物の収穫体験、四季の自然(ホタル、おしどり、桃源清水)、「おこない」などの伝統文化見学、旬の食材を使った伝承料理、創作料理など、様々な地域資源を組み合わせたツーリズムを地域が連携して組み立て推進する。

### 脅威×強み

#### 強みで脅威を克服する活動

- ◆元気のいいお年寄りを中心にボランティアチームを組み、買い物、草刈り、雪かきなどの生活支援や遊休農地の草刈り、獣の追い払いを行う。
- ◆地域とボランティアが一体となって、交通弱者の外出支援を進める支え合い交通を制度化する。
- ◆人生経験と仕事経験豊かな地域の各界の高齢者を先生に地域の子どもたちに様々なふるさと教育を行い、河和田ならではの小学校教育を行う。
- ◆区長はじめ地域団体役員の行政や地域での充て職を極力少なくし、および、テーマごとの会議から総合的な会議への一本化を図り、団体の役員の負担を軽くし、本来の活動に専念できるようにする。

## 強み

- ◆元気のいいお年寄が多い。
- ◆人のつながりがあり、人が優しい。
- ◆地場産業があり、腕のいい職人さんがいる。
- ◆自然が豊かで、ホタル、おしどりが生息している。
- ◆ラポーゼかわだがあり集客力がある。
- ◆アートキャンプやRENEWなど人を呼び込み地域の魅力を発信している。
- ◆公共施設が多く、いろいろなことが楽しめる。(ラポーゼ河和田、ラポーゼ農園、うるしの里会館、中山公園・テニスコート・レストハウス・体育館・野球場、萌生田スキー場、河和田コミュニティセンター)
- ◆伝統文化、食文化が残っている(おこない、山ウニ)。
- ◆桃源清水、三場坂清水などおいしくて豊富な湧水がある。
- ◆福井、鯖江、武生の都市部へ30分で行ける。

## 弱み

- ◆少子高齢化が深刻な問題になっている。集落によっては近所に遊べる子どもがいない。後期高齢者だけの世帯が増加している。
- ◆遊休農地、手入れされていない山、空き家が増えている。
- ◆交通手段が少ない。公共交通機関が限られている。
- ◆地場産業が以前に比べると停滞している。職人の後継者も不足している。
- ◆古い習慣や考えがあり、面倒なことがある。
- ◆地域活動の担い手が高齢化している。後継者がいない。
- ◆鳥獣害被害が多発している。

### 機会×弱み

#### 弱みを克服して機会を逃さない活動

- ◆豊かな自然、地域のつながり、地場産業、都市部まで30分以内で行けるなどの河和田の特色を河和田での活動を通して気づいた若者たちや SNS を使って大々的にPRし、若者層や子育て世代、田舎暮らしに興味のある高齢者の関心を引き寄せる。
- ◆モノづくり環境があることと、大きな空家、遊休農地、山など、活用の仕方によっては大きな価値を産み出す魅力があることを多様な考え方をする若者層に届ける。
- ◆河和田小学校の空き教室や体育館、グラウンド、中山公園、コミュニティセンターを活用し、地域の子どもたちが楽しく遊んだり、いろいろなことが学べる空間になるよう地域の人が話し合い、行政と連携して具現化する。

### 脅威×弱み

#### 弱みを克服して最悪の事態を招かない活動

- ◆小学校と連携して、こども達の「やりたい」を調査し、公民館やまちづくり協議会で、その「やりたい」を具現化できるようサポート。子どもたちのシビックプライドを醸成する。
- ◆若者たちが地域で活動しやすいよう、まちづくり協議会、区長会、公民館が後ろ盾になる。
- ◆南海トラフなどの大災害に備えて、太平洋側の地区とコミュニティ同士の付き合いをはじめ、空き家や空き農地とセットに2地区居住を斡旋する。
- ◆老若男女を問わず、自分たちの地域は自分たちで守り育てていくという志を持った人たちを探しグループ化し、絶えず情報交換と議論を行い、地域が未来に向かって考える力をつける。住民意識も合わせて高揚するプラスのスパイラルを作る。

## 内部要因(河和田地区の特性・課題)

